

研究テーマ	山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築 (第二報)		
担当者 (所属)	串田賢一, 渡辺誠, 鈴木文晃, 佐藤博紀, 石田正文, 三井由香里 (山梨県工業技術センター) 五十嵐哲也, 秋本梨恵 (山梨県富士工業技術センター)		
研究区分	・単独研究      ○共同研究	研究期間	平成26年度 (平成25年～27年)

**【背景・目的】**

中小企業が競争力あるものづくりを進めていくためには、地域資源の有効活用を図ることがこれまで以上に重要になってきており、より深みのあるコンテンツづくりとその流通に取り組む必要が高まっている。本研究は、地域に存在している地域資源や歴史資源を調査する中から有効と思われる対象をセレクトし、地場産業等で活用することのできるデザインソースとして編集・集積・公開することで、地域に根ざした新規プロダクトの創出に資することを目的として実施している。

**【得られた成果】**

前報に引き続き、整備するデザインソースを「形状」「模様」「色彩」「物語」の4つに定義し、染色用型紙や甲斐絹の模様等の2次元素材を対象としたデザインソース作成を継続する一方で、新たに縄文土器や古い農耕具、信仰用具等の有形物を対象とした3次元のデザインソース作成に取り組んだ。その結果、新たに966点をデザインソース化し、研究初年度からの累計で1,275点のデザインソースを整備した。

また、これらのデザインソースを管理・蓄積するスタンドアロン型のデータベースと、一般公開を目的とする Web 上で動作するデータベースの2種のシステム構築を行った。

◆デザインソース「形状」

研究協力機関の収蔵品の中から、本県産業の新製品につながると考えられる物品108点を対象とし、3次元スキャナー (COMET L3D 8M : Steinbichler製) により表面形状の測定を行い、3次元データ化した (図1)。これら3次元データはPC上でのハンドリング性を考慮し、形状変化を最小限に抑えつつリダクション処理を行い、元データとの比較で平均68.9%の減量を行った。



[今期整備分 : 108点]      [累計 : 120点]

図1 スキャン対象物 (上) とスキャン結果 (下)

◆デザインソース「模様」

早川家染型紙資料から75点、甲斐絹コレクションから30点の原版をピックアップし、ドローイングアプリケーション (Illustrator CS6 : Adobe製) を用いてベクターデータ化及びシームレス処理を行い、370点を整備した。また、一部のデータについてはドローイングアプリケーションに搭載されているパス編集用フィルタを用い、手仕事による模様作成特有の「ゆらぎ」「不均一さ」といったテイストを付加し、新たな模様として編集した。



[今期整備分 : 370点]      [累計 : 485点]

図2 原版 (上) とベクター化したデータ (下)

◆デザインソース「色彩」

甲府市北部、南アルプス市、早川町等を中心に県内25地点において土壌を採取。異物除去や乾燥、篩いといった所定の処理を施し、新たに60色のサンプルを作製した(図3)。

その後、分光測色計(CM-2600d:コニカミノルタ製)によりLab値を取得するとともに、画像処理アプリケーション(Photoshop CS6:Adobe製)を用いてカラーサンプルを作製した。

[今期整備分:60色] [累計:212色]



図3 作製した土のサンプル(一部抜粋)

◆デザインソース「物語」

文献調査を中心として本県にまつわる昔話・伝説から428話をピックアップし、テキストデータ化及びPDFファイル化を図った。

また、これに併せて話中に登場する場所や建物、物品について調査を行い、338箇所住所、地域、所蔵先を特定した。このうち、55箇所について取材・撮影を行いテキストデータとともに画像データを整備した(図4)。

[今期整備分:428話] [累計:458話]



図4 話中に登場する物品の取材例

◆デザインデータベースの整備  
スタンドアロン型:

File Maker PROを用いて作成を進めた。前報からレイアウトを変更し、画面を左右に2分割したスタイルとした。左半分はデザインソースと関連情報を集約、右半分はGoogle Mapと連動し、ソース元や入手先を示した地図情報が表示されるよう構成している(図5)。

Webサイト型:

WordPressを用いて動的データベースの基盤システムを作成し、動作確認のため100点のデザインソースを登録した。

サイト利用者が検索・閲覧しやすいよう、5つの検索方法を設けるとともに、PCやスマートフォン、タブレット端末、表示された機器の種類や画面サイズに応じて表示内容が変化するレスポンスWebデザインを採用している(図6)。

※Webサイト型のデザインアーカイブの公開時期は未定



図5 スタンドアロン型の画面

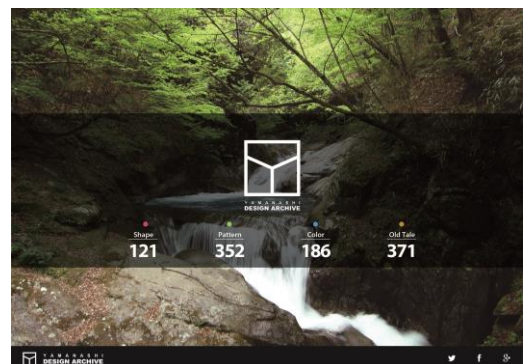


図6 Webサイト型の画面

【成果の応用範囲・留意点】

- ジュエリー、ワイン、織物、ニット、木工、和紙、食品、印刷、観光等、幅広い産業の商品開発等に活用することのできる地域固有のデザインソースとして機能する。